

大賞 学校

福岡市立特別支援学校「博多高等学園」

職業教育で学んだ知識・技能等を生かし、地域の環境美化に貢献!



業務終了後の報告風景

平成 16 年 4 月に開校した高等特別支援学校であり、生徒の多くは軽度の知的障がいがあり、卒業後の企業就労を目指している。

環境活動のコンセプトは「企業（職業技能者）から学んだ心と技を生かし、地域の環境美化に貢献」として、特別支援学校や障がい者の理解を深めてもらうこと、また障がい者雇用（職業的自立）の促進につながることを目指している。

主な活動は、学校周辺の道路等の落ち葉かき、ごみ拾いや、博多川遊歩道にある花壇の除草作業、水やり、フラワーポットの整備等、開校以来 7 年間継続して取り組んでおり、地域からの評価も高い。

活動にあたっては、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の協力を得て、職業技能者による授業や研修が展開されており、平成 20 年度から同法人が主催する「クリーンアップ福岡」にも参加している。

清掃活動では、お互いに協力して活動すること、歩行者などの迷惑にならないように活動すること、清掃用具等の正しい使い方を身につけることなどを心がけて取り組んでいる。

生徒たちに「人のために働く喜びを味わってもらうこと」を重視しており、この活動を通して、生徒が清掃や園芸の仕事に興味を持ち、関連会社に就労するよい機会となっている。



「クリーンアップ福岡」へ参加



研修で掃除道具の使い方を学ぶ

最優秀賞 個人

山崎 一

リーダーシップを発揮し地域の環境美化に貢献

長年にわたり吉岐東校区自治協議会の会長として、常に地域の先頭に立ち、活動の計画から実行までを推進しリーダーシップを発揮しており、校区には無くてはならない存在と評されている。

毎月第3日曜日の地域一斉清掃では吉岐団地内及び公園、周辺道路の清掃を子ども会や老人クラブ等、様々な団体が参加して活動している。

吉岐団地内の余った土地を花でいっぱいにし、環境美化を行うことでごみのポイ捨て減少もねらった「花いっぱい運動」や、子ども達へ自然環境保全の意識を深めてもらうために毎年10月に名柄川でひぶなの放流を行っている。

また緑のカーテン普及活動、施設見学等による学習会の企画・実施等様々な取り組みを長年にわたり精力的に実施している。

自分達で出来ることは自分達でやる、という意識のもと活動を続けている。



放流前の「ひぶな」

最優秀賞 団体

小呂女性部

50年以上にわたり清掃活動に取り組む

小呂島は、福岡市の北西40kmに位置した小規模な離島であり、約210名の島民が生活している。

対馬暖流の影響で冬でも降雪はほとんどなく、島全体が緑に覆われている。

男性は船団を擁して旋網漁に従事し、女性は海女漁を行っている人も多い。生活の糧となる漁業と大漁・安全を祈願する伝統行事は今日においても脈々と息づいている。

生活に密着した様々な行事を支えているのが女性部で、季節を問わず暑い日も寒い日も、全島の除草や海岸などの清掃活動を 50 年もの長きにわたり継続して実施し、島民が快適に暮らせるように生活環境を整えてきた。

また、島民で組織する水上消防団の女性団員として防災活動の一役も担っており、環境美化のみならず、島民の郷土愛を育むことに大いに貢献している。

